

- 1 単元名 タグラグビー (ボール運動/ゴール型)
- 2 目標
- 運動に進んで取り組み、ルールを守り助け合って運動をしたり、場や用具の安全に気を配ったりしようとする。(運動や健康安全への関心・意欲・態度)
 - ルールを工夫したり、効果的な作戦を立てたりすることができる。(運動や健康安全についての思考・判断)
 - 簡易化されたゲームで、ボール操作やボールを受けるための動きによって、攻防をすることができる。(運動の技能)

3 指導に当たって

(1) 単元について

一般的な特性としてタグラグビーは、走ったりパスをつないだりしながら、敵陣を突破してボールをゴールラインまで運ぶというゲームである。守備側は、相手の腰についているタグを取るだけで、身体が接触することはないので、どの児童も安心して取り組むことができる。また、走力や技能が不十分でも、ゲームに参加しやすいという利点があり、運動する喜びを感じることができる。

また、児童から見た特性としては、誰もトライできるチャンスがあることや、どこに転がるかわからない楕円球扱うことそのものを楽しむことができる。ほとんどの児童が経験したことがない種目なので、意欲をもって活動することができる。

(2) 児童の実態について

事前アンケート調査 (男子18名 女子15名 計33名)

平成24年 7月19日実施

1 体育は好きですか。	とても好き 17名	好き 13名	あまり好きではない 3名	好きではない 0名		
理由	とても好き 好き (動くことが楽しい。17名 友達とのふれあいができる。7名 達成感がある。6名)	あまり好きではない (苦手だから。2名 動くことが嫌い。1名)				
2 ボール運動の中で好きなものは何ですか。	サッカー10名	ソフトボール9名	バスケットボール8名	ソフトバレーボール2名	タグラグビー4名	
3 体育をやっている「楽しい」と思うのはどんなことですか。	うまくできた・記録更新できた。14名	勝った・得点した。9名	友達と協力した。1名	がんばることができた。2名	新しいことに挑戦した。2名	好きな運動ができた。5名
4 休み時間には主に何をしていますか。	運動している。23名	その他10名 (読書・勉強・特に何もしていない。)				

体力テスト結果 (県平均は平成22年度のもの)

	握力 (kg)		20mシャトルラン		50m走		ボール投げ (m)	
	本学級	県平均	本学級	県平均	本学級	県平均	本学級	県平均
男	18.50	17.35	54.94	55.65	8.67	9.27	22.50	24.81
女	17.00	16.87	43.27	47.02	9.17	9.45	12.53	15.28

総合評価段階別人数の割合

男 (A+B) 50% (D+E) 16% 女 (A+B) 53% (D+E) 20%

本学級の児童は、体育の時間をほとんどの児童が楽しみにしており、体を動かすことが好きな児童が多い。しかし、アンケート結果を見ると、体育の時間が好きではない児童が少数だがいることが分かった。その理由は、運動に関する苦手意識や体を動かすこと自体が嫌いというものだった。体力テストの結果を見てみると、20mシャトルランやボール投げが男女とも県平均より下回っており、持久走や投げの力に課題があることが分かった。

また、ボール運動では、サッカーやミニバスケットボールを習っている児童とそうでない児童での技能の差が大きく、活動への意欲の差も出てきている。さらに、肥満傾向の児童や、運動の習慣が定着していない児童が多いのも課題となっている。

(3) 指導観

本単元では、どの児童も自分の体力に合わせて、意欲をもって取り組めるように、ほとんどの児童が初めて経験する「タグラグビー」を扱うこととする。運動に関する苦手意識があるものも、初めて出会う種目で楽しさを味わうことができれば、運動することへの意欲も向上するのではないかと考える。また、「タグラグビー」の特性から、自分たちで立てた作戦を成功させる経験や、仲間と協力することの楽しさを味わうことができるだろう。さらに、ゲームでは、チーム全員が何らかの動きで継続して活動することとなり、走り続ける力も必要となる。投げる力に関しても、「手でボールを持って、ゴールを目指して走る。」という特性から、ボールをパスすることの重要性を感じることができるだろう。

単元の初めには、正しい方法を学ぶために、ゲストティーチャー (NECグリーンロケッツ) に協力を仰ぎ、基本的なタグやボールの扱い方、チームでの動き方などを指導してもらおう。トップリーグで活躍する選手からの直接指導は、児童の心に残るものになると考える。

その後は、タグラグビーの基本的なゲームの進め方を知り、自分たちに合った練習方法を考えたり、作戦を立てたりして、楽しくゲームに慣れていけるようにしていきたい。

さらに、単元の終末には、もう一度GTを招聘し、ゲームの質の向上を図り、達成感を感じることができるようにしたい。

4 単元の評価規準

運動への関心・意欲・態度	運動についての思考・判断	運動の技能
①集団対集団で競い合う楽しさや喜びに触れることができるよう、ボール運動に進んで取り組もうとしている。 ②ルールやマナーを守り、友達と助け合って練習やゲームをしようとしている。 ③運動する場を整備したり、用具の安全を保持したりすることに気を配ろうとしている。	④簡単なゲームの進め方を理解し、チームの課題となることに気付いている。 ⑤攻撃権の交代やオフサイドなど、簡易化されたルールを理解してゲームをしている。 ⑥チームの特徴に応じた攻め方や守り方を知るとともに、自分のチームの特徴に合った作戦を立てている。	⑦タグの受け渡しや、ボールを投げたり受けたりする基本的な動きができる。 ⑧簡易化されたゲームで、攻守が入り交じった攻防をするために、走りながらのボール操作やボールを受けるための動作ができる。

5 指導計画及び評価計画

	学習内容	観点別評価項目		
		関・意・態	思考・判断	運動の技能
第1時	タグの取り方やボールの持ち方に慣れよう タグの扱い方/パスの仕方 (GT)	◎①		○⑦
第2時	タグラグビーのゲームの仕方を知ろう 攻める側の動き方/ゲームの進め方	○①		◎⑦
第3時 本時	自分のチームの課題を見つけよう	○②	◎④	
第4時	簡単なルールでタグラグビーを楽しもう		○⑤	◎⑦
第5時	作戦を立てて、ゲームをしよう (GT)	○③	◎⑥	
第6時	タグラグビーのゲームを楽しもう (GT)	○①		◎⑧

6 本時の指導

(1) 目標

簡単なゲームの進め方を理解し、攻める時や守る時の動き方や、パスの仕方など、自分のチームの課題に気付くことができる。

(2) 準備・資料

ベルト、タグ、ラグビーボール、コーン、学習カード、マグネットボード、磁石、マジック、ホワイトボード、得点板、BGM、ビブス

(3) 本時の言語活動

- 本時の展開の部分においては、兄弟チームを設定し、互いのゲームを見合って相互評価し、より豊かな気付きができるようにしたい。また、振り返りにおいては、動きを言葉や図で表現したものを全体で共有し、効果的な作戦を学習カードに蓄積していけるようにする。

(4) 展開

時間	学習内容及び活動	支援と評価 (○評価☆言語力向上に向けた手立て)
はじめ 8分	1 場づくりや安全確認をして、整列、あいさつをする。 2 本時のねらいや学習の進め方を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">自分のチームの課題を見つけよう。</div> 3 グループで準備運動をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 身じたくの確認と健康観察を行う。熱中症予防のため、水分補給をこまめに行うようにする。 ・ 活動の場の安全やけがの防止について確認し、気を付けて活動するよう指導する。 ・ 前回行ったタグの扱い方や、パスの仕方などを振り返り、本時の活動の課題を確認する。 ・ BGMを活用し、楽しみながら体を十分に温め、可動域を広げられるようにする。

<p>なか 30分</p>	<p>4 4人～5人のグループで様々なゲームを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タグとりゲーム コート（15m×15m）の中で、タグを取り合う。タグは2本までしかとれない。2本取られたら外へ出る。同じチームの仲間が取ったタグで復活できる。最後までタグを取られずに逃げ切った人数で勝敗を決める。 ・ボール回し 円になり、隣の人にボールを渡していく。全員でパスの回数を数え、20回目は全員が中央に集まり、大きな声で「トライ」と言って座る。ボールを落としてもそのまま数え続ける。 ・コピーラン 先頭の児童がボールを持って、ゴールを目指す。後ろは、先頭の動きのまねをしながらついていく。「タグ」と聞こえたら後ろの味方へパスをする。 ・通りぬけ点ゲーム 2チームに分かれ、攻撃側はボールを持って相手ゴールに入れば得点。守りはフラフープ内から動かずに相手のタグを取る。 ・通りぬけ線ゲーム 守りは、コート内に引かれた線上しか動けない。他は、通りぬけ点ゲームと同じ。 <p>5 ゲームを通して気付いたことを話し合う。（兄弟チームで行う。）</p> <p>(1) 気付いたことをグループで、ホワイトボードにまとめる。</p> <p>(2) 気付いたことを全体で確認する。</p> <p>6 まとめたことを基にして、通りぬけエリアゲームを行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 赤・青・黄・緑の4チームにそれぞれABチームを作り、兄弟チームとして協力し合うようにする。 ・ 4色のビブスを着用し、チームを把握しやすいようにする。 ・ タグを取る時と返す時のやり方を再度確認する。 ・ 取る側「タグ」返す時「はいどうぞ。」受け取る側「ありがとう。」 ・ 互いに名前を呼び合ったり、目を合わせてパスしたりすることを確認する。 ・ 勝敗のみにこだわらず、考えて動くことが大切だということに気付かせる。 ・ うまく逃げるためには、走り方を工夫すると良いことに気付かせる。 <div data-bbox="879 712 1457 786" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>○ルールやマナーを守り、友達と助け合ってゲームをしようとしているか。（観察）</p> </div> <p>☆自分たちがやってみて気付いたことをホワイトボードに記入させる。また、兄弟チームの見ていたチームからも気付いたことを言うようになり、豊かな気づきができるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 様々なゲームをしてみて、気付いたことを全体で確認し、通りぬけエリアゲームに生かせるようにする。
<p>まとめ 7分</p>	<p>7 本時の活動を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学習カードに記入する。 ・ 自分たちのチームの課題を発表する。 <p>8 整理運動と片付けをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本時の学習で分かったことを取り上げ、次時の予告をし、期待をもたせる。 <div data-bbox="879 1317 1481 1391" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>○チームの課題となることに気付いたか。（学習カード・発表）</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ BGMを活用し、リラックスしながら使った部位をクーリングダウンできるようにする。

(5) 板書計画

<p>日付 / タグラグビー (ボール運動/ゴール型)</p>		
<p>自分のチームの課題を見つけよう。</p>		<p>ゲームを通して気付いたこと</p>
<p>学習予定</p>		
<p>1 整列・あいさつ 2 ねらい・学習の進め方 3 準備運動 4 ゲーム 5 話し合い 6 試しのゲーム 7 整理運動・片付け</p>	<p>ゲームの内容</p> <p>①タグとりゲーム ②ボール回し ③コピーラン ④通りぬけゲーム (点・線・エリア)</p>	<p>技能面</p> <p>態度面</p>